

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月31日			
○保護者評価有効回答数	対象者数	18人	回答者数	18人
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年11月30日			
○従業者評価有効回答数	対象者数	7人	回答者数	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること。※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(作業療法士・公認心理師・保育士・看護師)を配置していることで専門的な支援計画に沿って実施できています。	職員が統一した支援を提供できるよう計画に沿って支援し、課題点を改善していけるよう努めています。	専門職や他事業所との連携を図り継続的な支援を行っていきます。
2	職員間での意見交換や情報交換が円滑に行えており、支援内容が充実しています。	プログラムや活動に楽しみながら参加できる内容を工夫し飽きのこないよう、その都度更新して行っています。	定期的なプログラムの見直しを行い、利用児の可能性を広く考えた内容の検討を行いながら支援の充実を図っていきます。
3	自立に必要な支援として体験や経験する機会を多く取り入れた支援をしています。	生活や活動の中から成長していけるよう利用児の考えを尊重しながら成功できる方法を一緒に考えアドバイスし成功体験を多く経験できるようサポートしています。	保護者の方々からの要望を取り入れながら、新しいことにも挑戦していけるよう今後も検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること。※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもの交流や活動機会を設けることができていない。	公園や図書館での地域の子どもの交流はできているが、交流の場を改めて設けることは難しい。	地域の子どもや大人と関わる機会や必要性も含め検討していきます。
2	利用人数によって活動室内で身体を動かすのにもう少しスペースが欲しい。	車椅子利用児や高学年児利用が多い時は活動室のスペースが狭く感じられる。	野外活動や居室を解放し決められたスペースでも身体を動かせる活動を提供していきます。